

生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）

平成 30 年〇〇月〇〇日

（名称）〇〇〇〇〇〇

生活交通確保維持改善計画の名称	
嘉麻市地域内フィーダー系統確保維持計画	
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性	
<p>嘉麻市においては、平成29年7月に嘉麻市地域公共交通網形成計画を策定しており、網形成計画に定める実施事業において、利便性の高い交通環境の構築し、市内外を結ぶ公共交通路線の確保として、稲築から桂川方面への公共交通路線の構築を図ることとしている。</p> <p>現在の公共交通としては、飯塚市に連絡するバス路線である、西鉄バス上山田線、飯塚～大隈線、碓井・大分坑線を軸に、市内4地区（山田・嘉穂・稲築・碓井）にコミュニティバスや福祉バス等により構成される公共交通網を形成している。</p> <p>市内にはJR後藤寺線の下鴨生駅が立地し、飯塚市及び田川市方面へのアクセス性を有するが、福岡市や北九州市方面等の広域的なアクセスにおいては、隣接する桂川町に立地するJR福北ゆたか線の桂川駅への住民の移動ニーズが高い。</p> <p>また、嘉麻市では、稲築地区に市役所新庁舎を建設中であり、平成32度の供用を予定していることから、市内各地区や市外から稲築地区への移動ニーズは高まるものと予想する。</p> <p>しかしながら、稲築地区から桂川駅への公共交通路線はなく、路線バスを乗り換えてアクセスする必要がある。</p> <p>さらに、稲築地区と桂川駅をつなぐ沿線には、稲築志耕館高校、嘉穂総合高校の2高校が立地し、市内から嘉穂総合高校、市外から稲築志耕館高校の双方のアクセス性の確保も求められている。</p> <p>このため、嘉麻市地域内フィーダー系統確保維持計画によって、稲築～桂川線を確保することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>	
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果	
1) 事業の目標	
【基準】	
平成 29 年度（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）	10.0%
【目標】	
平成 31 年度（平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 9 月 30 日）	12.0%
平成 32 年度（平成 31 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日）	15.0%
平成 33 年度（平成 32 年 10 月 1 日～平成 33 年 9 月 30 日）	20.0%
（嘉麻市地域公共交通網形成計画 P79 参照）	
(2) 事業の効果	
<p>稲築～桂川線を運行することにより、稲築地区から桂川駅・下鴨生駅への移動手段が確保されるとともに、稲築志耕館高校、嘉穂総合高校への通学に必要な移動手段が確保される。</p> <p>また、平成 32 年度に予定する市内のコミュニティバス路線網の再編により、さらに効率的な運行体系の確保が可能となる。</p>	